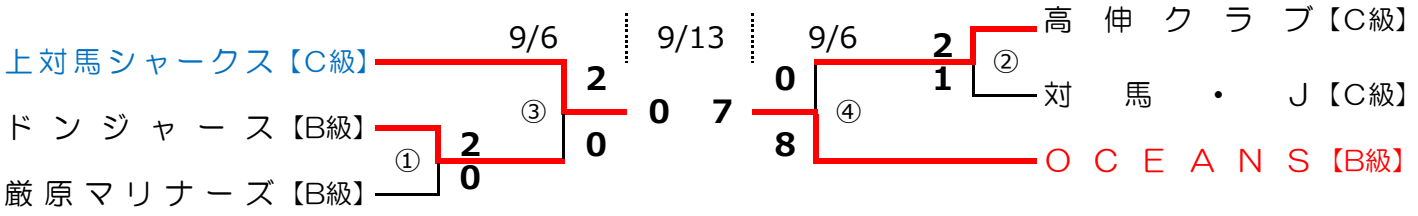
第31回　対馬軟式野球選手権大会

第76回長崎県軟式野球選手権大会・対馬予選会

会期＝令和８年９月６日(日)、９月13日(日)

会場＝美津島野球場

不参加チーム　球王クラブ(Ｃ級)、対馬ビルズ(D級)、対馬やまねこパワーズ(D級)



①【一回戦】09:23～　１時間33分

ドンジャース	020 000 0	2
厳原マリナーズ	000 000 0	0

ドンジャースが二回に４四死球無安打で挙げた２点を、先発の市山が守りきりマリナーズを２安打２四球で完封した。

初回の先頭安打と敵失に四球の一死満塁を三直併殺で先制機を逸したドンジャースは二回に３四死球の二死満塁から敵失と四球押し出しで２得点。三回以降も４四死球１安打で四、五、六回に得点機を作ったが後続が無かった。

マリナーズは二回に先頭四球と二死後に林田敏が安打の一三塁や六回には先頭敵失から二盗による得点機も走者進塁できず無得点に終わった

(審判)川﨑仁、多田康佑、波田正嗣、鳥羽涼介

【ドンジャース】	打	安	点	球
⑥ 中島 泰志	2	1	0	2
③ 長岡 亮	3	0	1	0
① 市山 和希	2	0	1	2
④ 津屋 敏彦	3	0	0	1
② 松村 聖	3	0	0	1
⑧ 佐伯 大賀	3	0	0	0
⑦ 糸瀬 慎吾	2	0	0	0
⑨ 冨本 優浩	1	0	0	2
⑤ 阿比留直樹	2	0	0	0
5 松村 直哉	1	1	0	0
犠1振6残8併1	28	2	2	8

【厳原マリナーズ】	打	安	点	球
⑥ 高松 翔	3	0	0	0
④5 春田 龍馬	3	0	0	0
③4 阿比留 瞬	3	0	0	0
② 神宮大司朗	1	1	0	2
⑤1 林田翔太郎	3	0	0	0
⑧ 阿比留大和	3	0	0	0
⑦ 林田 敏規	3	1	0	0
⑨ 小山 耕平	2	0	0	0
H 鬼橋 佑介	1	0	0	0
DH3 朝妻 直斗	2	0	0	0
P 伊是名星柳	－	－	－	－
犠0振1残5併0	24	2	0	2

②【一回戦】11:14～　１時間20分

対馬・Ｊ	000 010 0	1
高伸クラブ	000 000 2x	2

【二】財部晃、安木

０－２で最終七回の高伸クラブは代わった田中に対して先頭の高原が遊ゴロ悪送球で出塁し二盗後に続く安木が左中間二塁打し同点。続く連続死四球の一死満塁に山下は投ゴロ。三塁送球が逸れて二走が還り逆転サヨナラ勝ち。六回までの高伸クは散発４安打。四回に先頭安打の小宮が二盗後の一死二塁に遊ゴロ一塁送球の間に三塁を廻り本塁を突いたが一塁からの転送球で憤死した。

対馬Ｊは四回までに散発３安打ながらも犠打二進や内野ゴロ進塁で得点圏内に走者を置いたが後続無く、五回二死後に代打村井が左前ﾃｷｻｽ安打。田中が中前連安打の一二塁に財部晃の中越え二塁打で二走が還ったが一走は返球で三塁死し、追加点機を逸した。

【対馬・Ｊ】	打	安	点	球
⑤71 田中 淳也	3	2	0	0
④17 財部 晃	3	1	1	0
⑧ 財部 仁	3	0	0	0
③ 原田 武茂	2	1	0	0
H 一宮 努	1	0	0	0
3 中庭美智雄	0	0	0	0
⑨ 永留 和秀	3	0	0	0
①65 井 浩	3	0	0	0
⑥16 平間 淳次	3	0	0	0
② 坂上 仁志	3	1	0	0
⑦ 阿比留新吾	0	0	0	0
H 村井 英哉	1	1	0	0
4 多田 直樹	1	0	0	0
犠1振6残4併0	26	6	1	0

【高伸クラブ】	打	安	点	球
⑥ 斉藤 良樹	3	1	0	0
⑤ 三槻 伸也	3	0	0	0
② 小宮 直人	3	1	0	0
③ 高原 吉弘	3	0	0	0
⑧ 安木 和也	3	1	1	0
④ 斉藤 啓太	2	0	0	1
⑨ 樋口 和	2	2	0	1
⑦ 山下 祐喜	3	0	0	0
① 安部 広樹	2	0	0	0
犠0振4残5併1	24	5	1	2

(審判)
築城貴憲、神宮大司朗、波田正嗣、鬼橋佑介

③【準決勝】12:50～　１時間35分

上対馬シャークス	000 020 0	2
ドンジャース	000 000 0	0

【二】小宮

初回に先頭安打と四球の二死一二塁や二回二死後に財部の安打を活かせなかった上対馬は五回に先頭の高山が遊内野安打し敵失と犠打進塁の一死二三塁が、三ゴロ本塁死で二死一三塁と四球の満塁機に捕手からの三塁牽制球が悪送球で２走者が還りこれが決勝点となり、六回松村の先頭安打からの二死三塁や七回二死後に小宮の右二塁打は追加点を挙げれなかった。

ドンジャースは五回まで投じた上対馬の山崎から４四球１安打を得て二死ながら三度の得点機を作ったが後続が一ゴロや2三振に倒れ、六回からの築城に対しても六回は２死四球。七回には二死後に松村直の安打に敵失で同点の２走者を出したが一打無く無得点で、前年の対馬選手権覇者は準決勝で敗退した。

(審判)川﨑仁、財部仁、神宮保夫、一宮努

【上対馬シャークス】	打	安	点	球
② 小宮 祐希	4	2	0	0
⑧ 財部 好男	3	1	0	1
⑨ 武南 優司	3	0	0	0
⑥ 松村 龍	2	1	0	1
③ 田中 健人	2	0	0	0
7 御手洗祐一郎	1	0	0	0
3 松本 拓也	0	0	0	0
①9 山崎 拓弥	3	0	0	0
⑤ 高山 愛喜	3	1	0	0
④ 矢野 隆文	2	0	0	0
H4 東 貴也	1	0	0	0
⑦31 築城 陽聖	2	0	0	0
犠1振5残6併0	26	5	0	2

【ドンジャース】	打	安	点	球
⑥ 中島 泰志	3	0	0	1
⑨ 松村 直哉	3	1	0	1
⑤ 市山 和希	3	0	0	1
④ 津屋 敏彦	3	0	0	1
② 松村 聖	2	0	0	1
⑧ 森 俊介	3	1	0	0
⑦ 糸瀬 慎吾	2	0	0	1
① 佐伯 大賀	3	0	0	0
③ 阿比留正臣	1	0	0	0
H 村瀬 裕亮	1	0	0	0
3 長岡 亮	1	0	0	0
犠0振11残10併0	25	2	0	6

④【準決勝】14:52～　1時間05分　五回コールドゲーム

高伸クラブ	000　00	0	【本】八坂
ＯＣＥＡＮＳ	006　2X	8	【二】豊永、小島

二回まで敵失１走者だけのＯＣＥＡＮＳが三回に打者９人で６連打含む７長短打で大量の６得点。多田の先頭安打から続く豊永の二塁打で一走が還り三進した豊永が小松の中安打で生還。小宮茂が安打の一三塁に中村が適時打した一三塁に八坂の左越３ランで６連打で６得点。四回には多田の先頭安打と犠打二進後の四球で一二塁に代打の小島が２走者を還す左線二塁打し８点差とした。

高伸クラブは初回に２四球と敵失や四回に悪送球後に２連打などで得点機を作ったが二度の塁上死や後続が三振に倒れるなどで６残塁走者が本塁を踏めずに五回コールド敗戦した。

(審判)神宮保夫、阿比留正臣、築城貴憲、松村直哉

【高伸クラブ】	打	安	点	球
⑥　斉藤　良樹	2	1	0	1
⑤　三槻　伸也	3	0	0	0
②　小宮　直人	3	0	0	0
③1　高原　吉弘	1	0	0	1
⑧　安木　和也	2	0	0	0
④　斉藤　啓太	2	1	0	0
⑨　樋口　　和	2	1	0	0
⑦　山下　祐喜	2	0	0	0
①3　安部　広樹	2	0	0	0
犠0振8残6併0	19	3	0	2

【ＯＣＥＡＮＳ】	打	安	点	球
⑧　小松　　蓮	2	1	1	1
8　井村　昭洋	0	0	0	0
④　小宮　茂輝	2	1	0	0
H4　小島　圭祐	1	1	2	0
⑦　中村　雄一	3	1	1	0
⑤　八坂　佑真	3	1	3	0
②　春田　朱哉	2	0	0	0
⑨　鳥羽　涼介	2	1	0	0
9　阿比留大雅	0	0	0	0
⑥　永石　帆楓	2	0	0	0
6　小西　清弘	0	0	0	0
③　多田　康佑	2	2	0	0
3　春田　一成	0	0	0	0
①　豊永　　聖	1	1	1	0
1　春田　剛志	0	0	0	0
犠1振2残2併1	20	9	8	1

9/13【決勝】09:58～　1時間25分　六回コールドゲーム

上対馬シャークス	000　000	0	【三】扇
ＯＣＥＡＮＳ	100　024x	7	

初回のＯＣＥＡＮＳは一死後に死球の小宮が捕逸等で三進後に三ゴロ悪送球で還り先取点。二死後に２四球で満塁としたがここは無得点。五回は二死から小宮が内野安打し扇の右中間三塁打で生還すると扇も続く八坂の左前打で還り２点を加点。六回には２連続敵失に２捕逸が絡んで三走が還り連続死四球の満塁から江口の投ゴロ一塁送球の間に三走に続いて二走の白石も本塁を突いて３点目。二死三塁となったところで捕手からの三塁牽制悪送球で三走が還って７点差コールドとなった。

上対馬は初回一死後の四球や三回三振振り逃げと唯一安打した松村の２走者が二三塁に進んだが本塁が遠く無得点に終わった。

(審判)阿比留正臣、原田武茂、築城貴憲、波多野幹治

【上対馬シャークス】	打	安	点	球
⑥　松村　　龍	3	1	0	0
⑨　庄司　裕豪	2	0	0	1
③　浦崎　亮真	1	0	0	0
H31　山崎　拓弥	2	0	0	0
②　高山　愛喜	3	0	0	0
⑦　東　　貴也	2	0	0	0
①3　小宮　祐希	2	0	0	0
3　松本　拓也	0	0	0	0
⑤　田中　健人	2	0	0	0
④　矢野　隆文	2	0	0	0
⑧　武南　優司	2	0	0	0
犠0振9残3併0	21	1	0	1

【ＯＣＥＡＮＳ】	打	安	点	球
DH　江口　貴博	4	1	1	0
④　小宮　茂輝	3	1	0	1
⑥　扇　　祥喜	3	1	2	0
⑤　八坂　佑真	3	1	1	0
⑦　中村　雄一	2	0	0	1
⑨　鳥羽　涼介	2	0	0	1
③　多田　康佑	3	0	0	0
②　白石　勝太	2	0	0	1
⑧　阿比留大雅	2	0	0	1
P　春田　剛志	－	－	－	－
犠0振6残6併0	24	4	4	5

優勝のＯＣＥＡＮＳは10月24日、25日に長崎市と諫早市で開催の長崎県軟式野球選手権大会に出場する

昭和50(1975)年に対馬町村会長からトロフィーを賜わり、昭和26年に始まった長崎県軟式野球選手権大会の対馬予選会としていた大会は対馬6町(厳原、美津島、豊玉、峰、上県、上対馬)代表の６チームによる大会であった(平成7年第21回大会まで)

それを対馬島内全登録チーム参加の予選会とし大会の名称も『対馬選手権大会』とし、新たに町村会長杯カップを寄贈頂いたのが平成８(18996)年で全20チーム登録の17チームが参加して三日間開催。第一日は美津島と峰の2会場で一二回戦9試合。第二日が美津島で準々決勝と準決勝の６試合。第三日の決勝戦は９回戦ゲームで行ない、厳原レパーズが２-０で上対馬ライオンズを下して初代の対馬チャンピオンとなった。

平成９年から14年の６年間は20チーム越え(最高22)の参加であったが年々減少し、26年に10チームとなり、27年には８チーム(不参加４)となった。

平成８年以降の県選手権大会の対馬代表の戦績

回	年	予選会	県選手権大会参加		戦　　績
1	８年	17	厳原レパーズ		7-12 西海棒球団(西彼)
2	９年	22	大洋真珠クラブ		4-5 鹿町バンビーズ(県北)
3	10年	22	上対馬メッツ		3-7 ソニー長崎(諫早)
4	11年	21	豊玉町野球部		7-1 島クラブ(平戸)　0-3 親和銀行(推薦:前年優勝)
5	12年	21	上対馬ライオンズ		4-8 福江球友会(福江)
6	13年	20	上対馬メッツ		0-1 波佐見野球クラブ(東彼)
7	14年	20	厳原レパーズ		1-4 若松クラブ(上五島)
8	15年	19	厳原NYビーンズ		0-2 波佐見鴻ノ巣クラブ(東彼)
9	16年	18	厳原マリナーズ		5-0 県職五島(福江)　2-3 親和銀行(推薦:前年優勝)
10	17年	18	上対馬クラブ		5-2 平戸クラブ(平戸)　1-8 ＴＥＡＭ橋口(大村)
11	18年	17	厳原NYビーンズ(BEST4)		4-1 たちばな信用金庫(諫早) 5-0 南串野球部(県南) 0-9 三菱重工長崎(推薦:前年優勝)
12	19年	16	制覇クラブ		0-2 親和銀行(推薦:前年優勝)
13	20年	14	豊玉町野球部		0-8 親和銀行(佐世保)
14	21年	13	厳原NYビーンズ		2-6 アイケン医院(推薦:前年優勝)
15	22年	14	60回記念大会	豊玉町野球部	4-5 若松クラブ(上五島)
				上対馬メッツ	2-6 舛田グループ(上五島)
16	23年	13	厳原NYビーンズ		0-4 JF長崎県漁連野球部(諫早)
17	24年	11	厳原マリナーズ		1-8 親和銀行(推薦:前年優勝)
18	25年	11	厳原マリナーズ		2-7 島原市役所野球部(島原)
19	26年	10	制覇クラブ(BEST４)		4-2 長崎三菱自動車販売　5-3 南原クラブ(推薦：大村) 0-2 親和銀行(前年優勝)
20	27年	8	上対馬メッツ		0-10 親和銀行(推薦:前年優勝)
21	28年	8	厳原マリナーズ		0-4 三菱重工長崎(推薦:前年優勝)
			対馬選手権は制覇クラブが優勝。県選手権大会は翌週開催の県民体育大会とのダブル出場のため辞退。 対馬選手権準優勝の厳原マリナーズが県選手権大会に出場した。		
22	29年	8	制覇クラブ		4-6 J･POWER'S松島(西海)
23	30年	7	制覇クラブ		3-1 海自大村(大村)　0-5 三菱重工長崎(A級推薦)
24	元年	5	制覇クラブ		9-3 Ｂeams(島原)　1-5 親和銀行(Ａ級推薦)
25	２年	7	厳原マリナーズ		0-7 長崎サニクリーン(Ａ級推薦)
26	３年	5	制覇クラブ		3-0 崎山クラブ(福江)　2-1 佐世保市役所　0-9 長崎サニクリーン(Ａ級推薦)
27	４年	5	Ｂｒａｖｏ		予選会決勝を厳原マリナーズが辞退し、制覇クラブが代表権を得たが、制覇クも辞退。 準決勝で制覇クに敗戦のＢｒａｖｏが県大会に参加　3-4 松浦ベイスターズ
28	５年	6	ＯＣＥＡＮＳ		0-6 飯盛クラブ(諫早)
29	６年	4	厳原マリナーズ		15-0 福江クラブ(福江)　2-5 十八親和銀行(Ａ級推薦)
30	７年	3	ドンジャース		1-6 西龍クラブ(平戸)
31	８年	6	ＯＣＥＡＮＳ		